



西濃の風

岐阜県立西濃高等特別支援学校
学校だより 第8号
令和2年1月10日 発行

新しい年への思い

日頃は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年 5 月に新しい元号となり、ようやく“令和”に慣れてきたところです。毎年 12 月、京都の清水寺で発表される「ことし 1 年の世相を漢字で表す今年の漢字」も『令』が選ばれました。新しい社会や時代への期待を込めて選んだ人が多かったのでしょうか。生徒の皆さんも自分が進む社会の様子や在り方についての関心が高くなったのではないかと思います。

さて、学校だよりでは学校行事の様子をお知らせしていますが、今回は、本校を卒業後、進む社会の中で必要な力や行動の在り方などをテーマにしました。生徒の皆さん、自分自身を振り返ってみましょう。そして日々の行動に繋げて実践してください。

◇人と関わる力、仕事をするために必要な力

- (ア) 挨拶は基本。相手の顔を見て、または、室内全体をみて大きな声ではっきりと。
- (イ) 受け答えができる力。相手の話の内容をつかみ、「はい、わかりました。」と。
- (ウ) 伝えたいことをしっかり話す。報告・要件の要点、順序をわかりやすく具体的に。
- (エ) メモを的確に。いつ、どこ、だれ、なに、なぜ、どのように、(5W1H)

これらは簡単そうで難しいことです。しかし、日常生活の中で意識し、実践することで身に付けられることです。まずは学校生活の中で練習をしてみましょう。本校では、講習会や集会などで、積極的にメモを取る姿があります。メモはあとで活用するために、確実に書き留めることが重要です。話す人をしっかり見て聞くこと、端的に要点を書くこと、そして、何を話されるのかを立場や状況から想像することも必要なポイントです。

◇身辺を整える力、豊かな生活をするために必要なお金の管理力

- (オ) 制服をきちんと着る。帰属の象徴であり、場合によっては身を守るものでもある。
- (カ) 時間にゆとりをもって行動する。心のゆとりと笑顔を心掛けよう。
- (キ) 時間や金銭の価値を意識する。よりより使い方を考え、適切に行動する。
- (ク) 自分の身の回りのことは自分で。自分の力を高める機会として積極的に実践する。

本校では、職場見学、企業内実習、現場実習の中で、社会自立に向けて意識を高めていきます。第 7 号に記載しましたが、「自分で起きる」「身だしなみを整える」「食事をきちんと摂る」「時間を意識した行動をする」などを、保護者の方や先生たちを頼らず、自分で取り組み、管理することが生活自立につながります。

■生徒の頑張り！ 12 月 20 日、1 月 7 日の集会で表彰しました。

第 25 回岐阜県特別支援学校美術作品展 奨励賞(2 年)、努力賞(1 年 2 名)

ぎふ・関全国子ども俳句コンクール 2019 奨励賞(1 年)、入賞(1 年)

第 4 回岐阜県特別支援学校体育連盟卓球大会 優勝(1 年)、第 2 位(2 年)

第 9 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会 記録証(1 年)

サービス接遇検定 3 級(1 年 5 名、2 年 1 名)

第 63 回全国商業高等学校協会ビジネス文書実務検定 総合 3 級(1 年)

〃 速度部門 2 級(2 年) 3 級(2 年) 4 級(2 年 2 人)

〃 ビジネス文書部門 4 級(2 年 2 名)